



背景・目的

- あらゆるモノがインターネットに繋がるIoTにおいては、大量のデバイス・センサーからデータをクラウドに送信し、蓄積されたデータを解析し、活用することが必要となるが、多接続に伴う電力消費やCO2排出量の増大が懸念されており、我が国のCO2排出削減目標達成のためには、省CO2型の情報通信ネットワークシステムを構築することが必要。
- 省CO2型情報通信ネットワークシステムのためには、例えば省電力・広域通信を可能とする無線技術LPWA（Low Power Wide Area）や、環境中の振動、温度差、室内光等を利用して電子機器にエネルギー供給を行うエネルギーハーベスティング技術等の利用が考えられるが、これら技術のCO2排出削減の定量的な効果は明らかになっていない。
- 本事業は、省CO2型情報通信ネットワークシステムのCO2削減効果等を評価・検証することを目的とする。

事業概要

LPWAやエネルギーハーベスティング等の省CO2型情報通信ネットワークシステムを実現する個々の技術やシステムについてCO2削減効果等の検証・評価を行う。

期待される効果

省CO2型情報通信ネットワークシステムに係るCO2削減効果等を明らかにすることで、それらの実用化・普及を促し、Society 5.0の実現と全国的なCO2削減に貢献する。

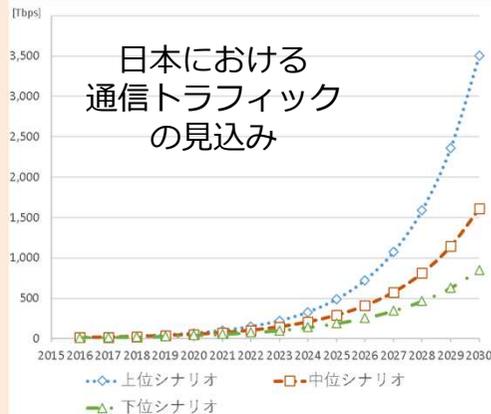
事業スキーム

実施期間：31年度（2019年）度～35年度（2023年度）



事業目的・概要等

イメージ



出典：総務省「第2回将来のネットワークインフラに関する研究会」資料を基に環境省作成

